



S&B

エスビー食品株式会社

**2026年3月期
中間期決算説明会**



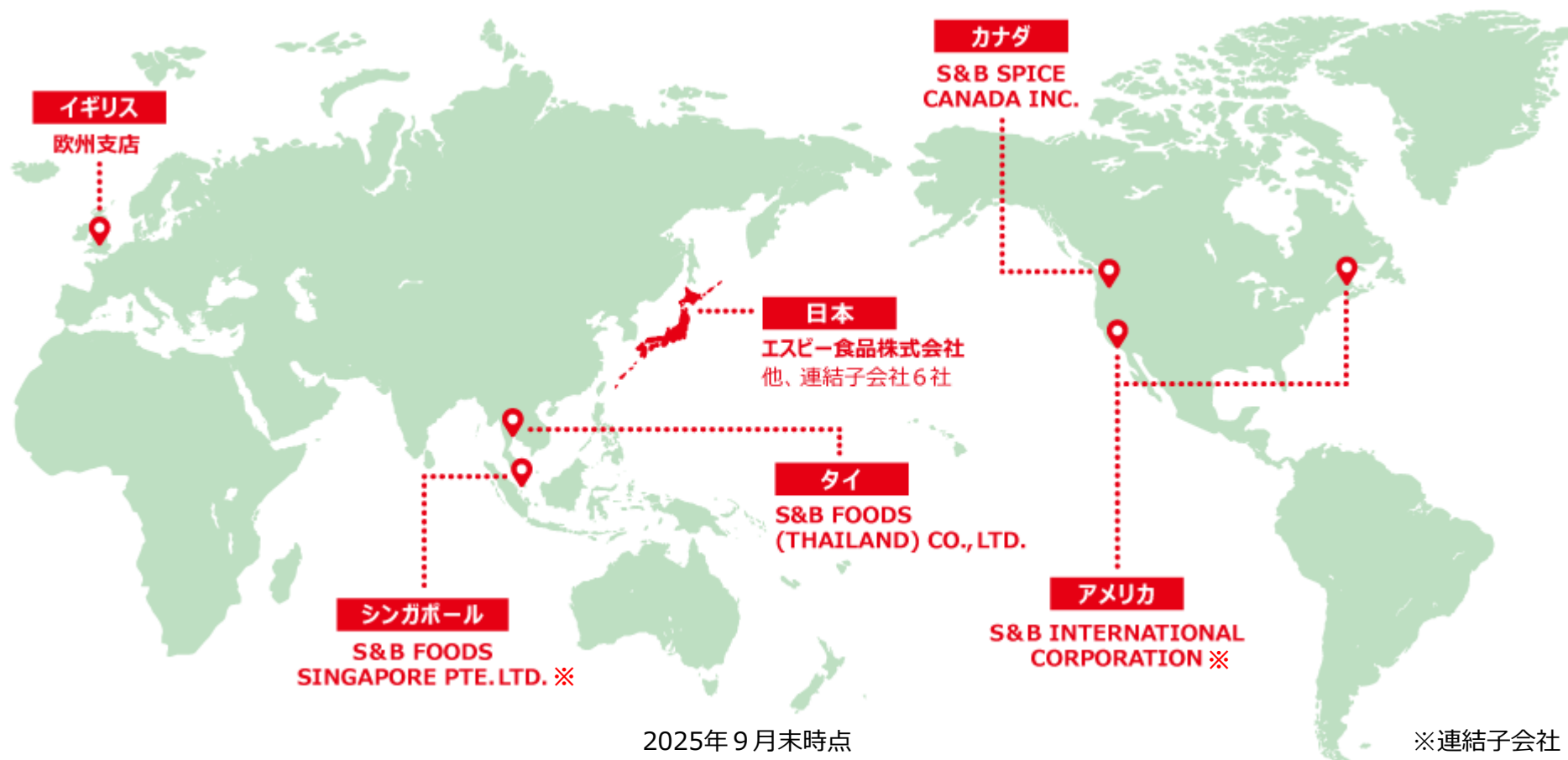
本日の内容

- ① 会社概要
- ② 2026年3月期中間期決算報告
- ③ 補足情報

本日の内容

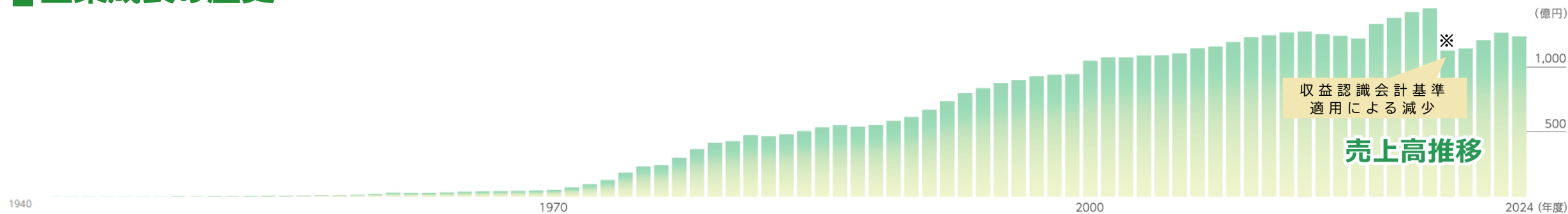
- ① 会社概要
- ② 2026年3月期中間期決算報告
- ③ 補足情報

会社名	エスビー食品株式会社	代表者	代表取締役社長 池村 和也
創業	1923年	従業員数	連結2,107人 個別1,557人 (2025年9月30日現在、臨時従業員を除く)
設立	1940年4月5日	本社	東京都中央区日本橋兜町18番6号



02 エスビー食品グループの価値創造と企業成長の歴史

■ 企業成長の歴史



創業1923年
～1940年代

1950年代～1970年代

1980年代～1990年代

2000年代～

2023年～

創業期

カレー・スパイスを軸に
製品基盤を確立

食の多様化に応える
さまざまな製品を開発

「SPICE&HERB」の
エスビー食品へ

創業100周年
次なる100年へ

日本初の
国産カレー粉の製造



香りが際立つ
ゴールデンカレー発売



日本初の
チューブ入り香辛料
の発売



ごろっと具材が入った
レトルトカレー
カレー曜日発売



フレッシュハーブ
の発売



スパイスを使った
メニュー訴求型製品
の開発



お徳用シリーズ
大ヒット



&100
To the next 100 years
100周年記念製品
の発売



アップサイクル製品
の発売



■ 価値創造の歴史

「赤缶カレー粉」や「ゴールデンカレー」「本生本わさび」などの、
スパイスとハーブをコアコンピタンスとする約3,000品目の製品を、
国内外のあらゆるチャネルに向けて開発・製造・販売し、
人々の食生活に深く浸透し続けている総合食品メーカー



スパイス&ハーブ



即席



香辛調味料



インスタント食品その他

—— エスビー食品グループのビジョン ——

「地の恵み スパイス&ハーブ」の可能性を追求し、おいしく、健やかで、明るい未来をカタチにします。

ビジョンを実現するための事業

国内事業



- ▶創業から**100年以上にわたり、スパイスやハーブを活用したさまざまな製品を発売し**、“和・洋・中”問わず幅広い料理のジャンルをカバー。
- ▶日本の食卓の多様化・国際化が進む中で欠かせない**香辛料市場において、5割を超えるシェア**を獲得・維持。
- ▶少子高齢化やライフスタイルの変化などに合わせ効率的なマーケティングを行い、**時短・簡便調理などのニーズに対応**する製品を適時投入。
- ▶スパイスとハーブの機能性に着目した**機能性表示食品**や、食物素材の残渣や余剰を活用する**アップサイクル製品**の展開など、新たな事業・市場の拡張にも取り組む。



アップサイクル製品

—— エスビー食品グループのビジョン ——

「地の恵み スパイス&ハーブ」の可能性を追求し、おいしく、健やかで、明るい未来をカタチにします。

ビジョンを実現するための事業

海外事業



- ▶日本の国民食と言える「カレー」や伝統的な香辛料である「わさび」など、**約260品目の製品**を**60以上の国と地域**に向けて展開。
- ▶重点地域は「**北米**」「**東アジア・東南アジア・オセアニア**」「**欧州（西欧）**」
- ▶主力製品は「**ゴールデンカレー**」「**ねりわさび**」「**うまみトッピング**」
- ▶事業拡大に向けた拠点の増強と海外サプライチェーンの構築や、マーケティング活動の強化に取り組むことで、**世界中のお客さまとの接点拡大**と「**S & B**」ブランドの**認知拡大**を図る。



海外事業主力製品

S&B

Authentic Taste of Japan

海外向けブランドメッセージ



本日の内容

- ① 会社概要
- ② 2026年3月期中間期決算報告
- ③ 補足情報

06 連結業績 | 累計

- **売上** 国内事業・海外事業ともに堅調に推移した結果、前年同期比で**増加**となった。対計画比では**減少**。
- **利益** 原材料価格の上昇などの影響により、営業利益・経常利益は前年同期比で**減少**したものの、投資有価証券売却益などにより中間純利益は**増加**。対計画比では、当初計画よりも売上原価率が低減されたことなどから**増加**となった。

(単位：百万円)

	2025年3月期 中間期実績	2026年3月期 中間期計画 (25.5.13開示)	2026年3月期 中間期実績	前年同期比		計画比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	61,491	63,500	63,350	1,859	3.0%	▲149	▲0.2%
営業利益	5,001	4,400	4,701	▲299	▲6.0%	301	6.8%
経常利益	4,999	4,400	4,885	▲113	▲2.3%	485	11.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益	3,659	3,200	3,720	60	1.7%	520	16.3%

07 連結業績 | 四半期

- **売上** 1 Qは4・5月の物量を維持できたほか、6月に価格改定前の駆け込み需要などもあり**増加**。
2 Qは7月の価格改定に伴う物量の減少があったものの、海外事業が好調に推移したことなどから**増加**。
- **利益** 1 Qは売上高は増加したものの、原材料価格の上昇などにより**減少**。
2 Qは価格改定効果や販売品目構成の良化などにより**増加**。

(単位: 百万円)

	2025年3月期				2026年3月期				前期比			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
売上高	31,039	30,451	35,029	26,999	32,088	31,262	—	—	1,048	810	—	—
営業利益	3,142	1,858	4,288	152	2,636	2,064	—	—	▲505	205	—	—
経常利益	3,459	1,539	4,689	▲38	2,804	2,081	—	—	▲655	541	—	—
四半期純利益	2,464	1,194	3,317	588	1,941	1,779	—	—	▲523	584	—	—

08 セグメント別の状況

(単位:百万円)

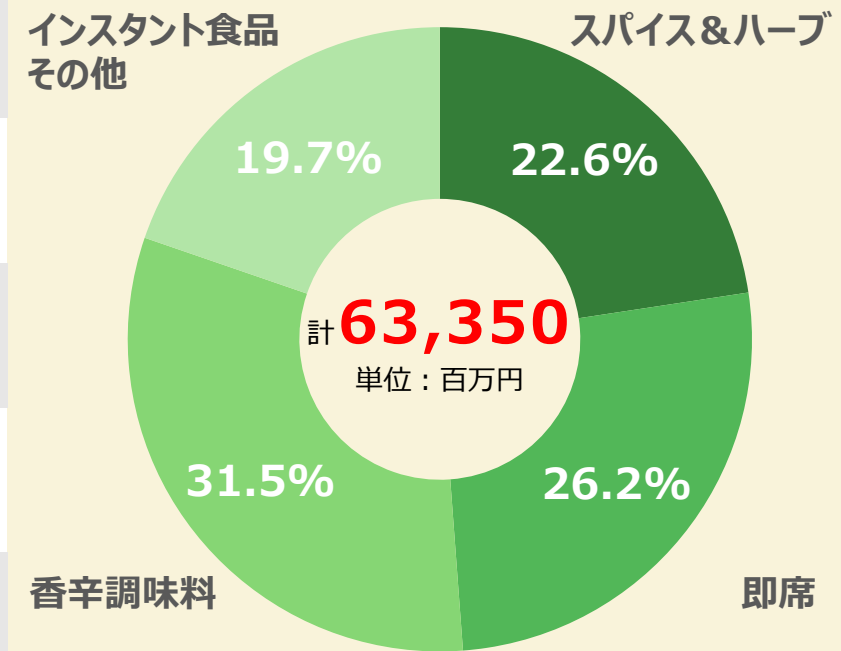
	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年同期比	
国内事業			増減額	増減率
売上高	55,436	56,580	1,143	2.1%
セグメント利益	3,366	3,057	▲309	▲9.2%
セグメント利益率	6.1%	5.4%	—	▲0.7%
海外事業				
売上高	6,053	6,767	714	11.8%
セグメント利益	1,634	1,644	10	0.6%
セグメント利益率	27.0%	24.3%	—	▲2.7%
海外売上高比率	9.8%	10.7%	—	0.9%

09 売上補足 | 製品区分別連結売上高

(単位: 百万円)

	2025年3月期 中間期※1	2026年3月期 中間期	前年同期比	
			増減額	増減率
スパイス&ハーブ	17,421	18,485	1,064	6.1%
即席	20,775	21,437	662	3.2%
香辛調味料	24,681	25,724	1,042	4.2%
インスタント食品その他	16,432	16,133	▲298	▲1.8%
売上控除	▲17,819	▲18,431	▲611	3.4%
合計	61,491	63,350	1,859	3.0%

2026年3月期中間期
製品区分別売上高構成比※2



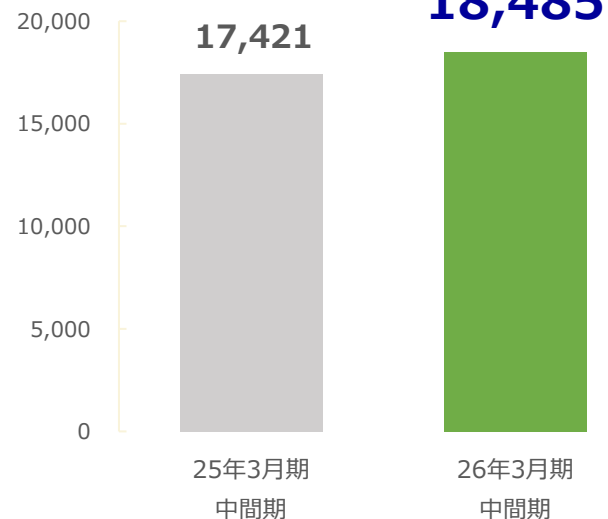
※2 各製品区分別の売上高構成比は、食料品事業の売上高（出荷ベース）を100%とした場合の売上高構成比です。

※1 2026年3月期中間期より製品区分の内訳を見直したことにより、2026年3月期中間期の製品区分別連結売上高を組み替えております。

10 売上補足 | 製品区分別の状況

■ スパイス&ハーブグループ

(単位：百万円)

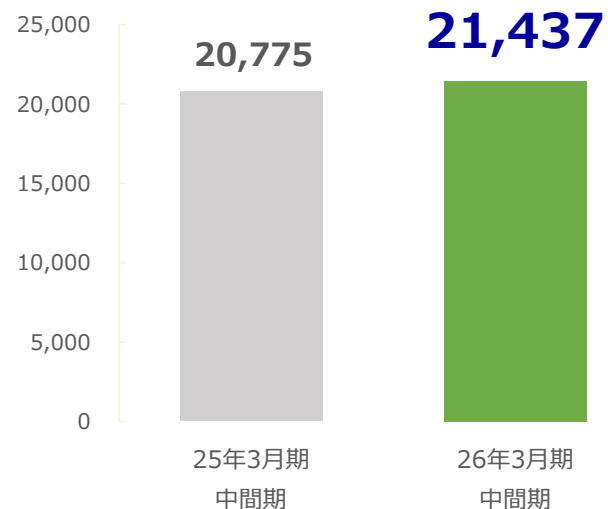


(前年同期比) 増減額： + **1,064**百万円 増減率： + **6.1**%

業務用香辛料、洋風スパイス、シーズニングスパイスが順調に推移し、全体として増加。

■ 即席グループ

(単位：百万円)



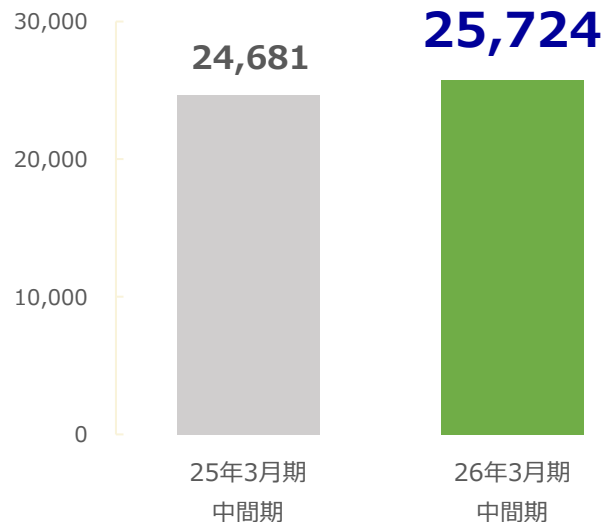
(前年同期比) 増減額： + **662**百万円 増減率： + **3.2**%

ゴールデンカレーや赤缶カレーパウダールウが順調に推移したほか、濃いカレーなどの新製品が寄与し、全体として増加。

11 売上補足 | 製品区分別の状況

■ 香辛調味料グループ°

(単位：百万円)

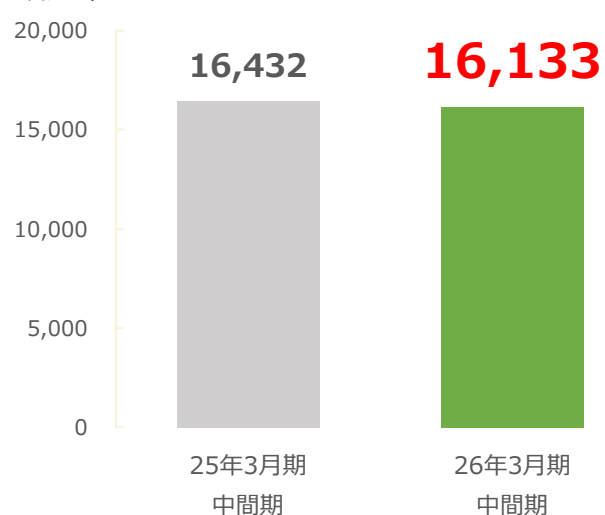


(前年同期比) 増減額： + **1,042** 百万円 増減率： + **4.2** %

うまみトッピングなどのラー油関連製品や、李錦記ブランド製品が伸長。お徳用タイプのチューブ製品も順調に推移し、全体として増加。

■ インスタント食品その他グループ

(単位：百万円)



(前年同期比) 増減額： ▲ **298** 百万円 増減率： ▲ **1.8** %

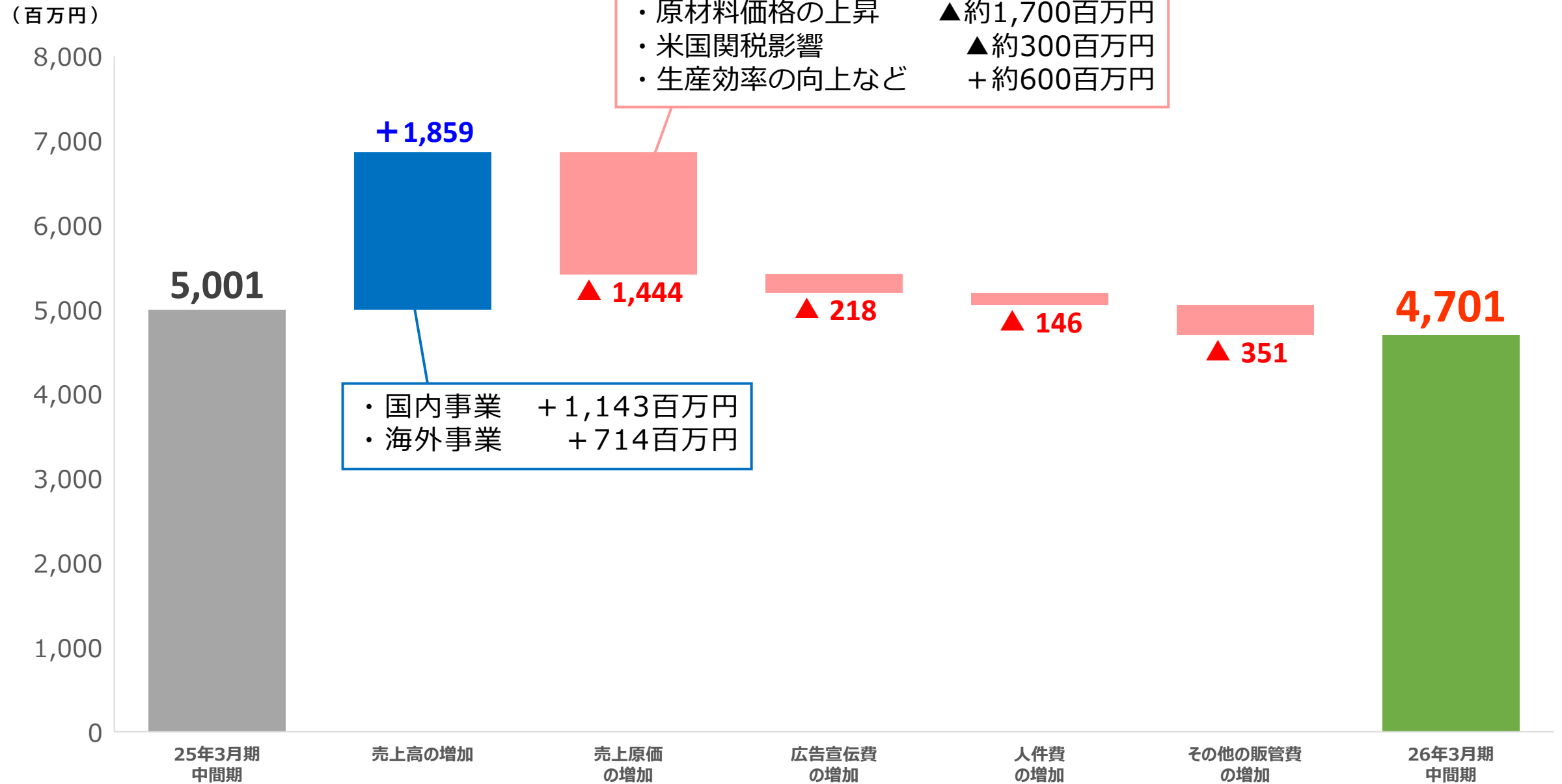
レトルトカレーが増加したものの、パスタソースが減少し、全体として減少。

12 販売費及び一般管理費の主な増減内容

(単位：百万円)

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	前年同期比	
			増減額	増減率
販売促進費	939	937	▲2	▲0.2%
荷造運搬費	1,753	1,818	64	3.7%
広告宣伝費	1,286	1,504	218	17.0%
給料及び手当	2,085	2,231	146	7.0%
賞与引当金繰入額	694	738	44	6.4%
退職給付費用	272	254	▲18	▲6.7%
減価償却費	207	218	10	5.1%
その他	4,594	4,845	251	5.5%
販売費及び一般管理費合計	11,835	12,550	715	6.0%

13 2026年3月期中間期 営業利益増減分析



14 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期 中間期	増減額
資産合計	137,093	149,711	12,617
流動資産	81,619	92,720	11,100
固定資産	55,474	56,991	1,516
負債合計	56,825	61,845	5,020
流動負債	36,918	41,774	4,855
固定負債	19,906	20,071	164
純資産合計	80,267	87,865	7,597
負債純資産合計	137,093	149,711	12,617

■ 主な増減要因

資産の部

- ・ 利益の積み上げによる現金及び預金の増加
- ・ 売上の増加に伴う売上債権の増加
- ・ 物量の増加や原材料価格の上昇に伴う棚卸資産の増加

負債の部

- ・ 借入金の増加

純資産の部

- ・ 中間純利益による利益剰余金の増加
- ・ その他有価証券評価差額金の増加

2026年3月期中間期実績は、中間期計画に対して利益は上回っての着地となった。

概ね計画通りの進捗となったことから、2025年5月13日に発表した通期計画については変更していない。

(単位: 百万円)

	2026年3月期 中間期計画		2026年3月期 中間期実績		2026年3月期 通期計画		進捗率
		対前年		対計画		対前年	
売上高	63,500	2,008	63,350	▲149	127,000	3,479	49.9%
営業利益	4,400	▲601	4,701	301	9,600	157	49.0%
経常利益	4,400	▲599	4,885	485	9,800	149	49.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,200	▲459	3,720	520	7,600	34	49.0%

国内事業



| お客さまの節約志向は高まっているものの、最需要期を迎え堅調に推移する見通し

- ▶ 7月の価格改定後の**年末最需要期に向けて、物量の維持・拡大**を図る
- ▶ メニュー系シーズンングの関連販売強化、汎用シーズンングの販促強化
- ▶ SNSなどの影響により好調に推移している**赤缶カレーパウダールウ**を中心とした**パウダールウ製品の拡売**
- ▶ 外食産業・インバウンドへの取組み強化
- ▶ スパイスやハーブの機能性を活かした機能性表示食品や健康食品の認知拡大

海外事業



| 北米は堅調に推移する見通し。その他のエリアでは回復を図る。

北米

- ▶ 8月に価格改定を実施したが、その後も**「ゴールデンカレー」と「うまみトッピング」の需要は高い**。
引き続き、展示会への出展やデジタルマーケティングを強化し、お客さまとの接点の拡大に注力する。

東アジア・東南アジア・オセアニア

- ▶ ベトナムにおける「ねりわさび」の**低価格製品との競争が課題**。

欧州（西欧）

- ▶ 前年同期の反動減が続くものの、需要は高いので
引き続き、**主要量販店への配荷拡大**に努める。



本日の内容

- ① 会社概要
- ② 2026年3月期中間期決算報告
- ③ 補足情報

子会社の概要

名称 : S&B Foods (Thailand) Co.,Ltd.

所在地 : タイ王国チョンブリ県

事業内容 : 即席カレー製品等の製造、販売

資本金 : 200百万タイバーツ

設立年月日 : 2025年2月10日



タイ王国チョンブリ県



※完成イメージ

今後の展望

- 引き続き経済成長が見込める東南アジア・オセアニア地域で、更なる「S & B」ブランドの浸透と事業強化を目的に**タイ王国での工場建設に着手**。
- 2027年度後半での生産開始**を見込んでおり、**ハラル認証に対応した即席カレー製品の生産**を予定。この生産拠点の稼働により、同地域での**サプライチェーンの強化及び供給量拡大**を通じて日本式カレーの普及を進める。

2025年5月送付製品

割当基準日	保有株式数	継続保有期間※	優待内容
3月31日	100株	3年未満	1,000円相当の当社製品
9月30日		3年以上	2,000円相当の当社製品



1,000円相当の当社製品

2,000円相当の当社製品

新制度

2026年3月31日より

割当基準日	保有株式数	継続保有期間※	優待内容
3月31日 9月30日	100～499株	半年以上 3 年未満	1,000円相当の当社製品
		3 年以上	2,000円相当の当社製品
	500株以上	半年以上 3 年未満	2,000円相当の当社製品
		3 年以上	4,000円相当の当社製品

※継続保有期間が半年以上とは、基準日である3月31日および9月30日の株主名簿に、同一の株主番号で2回以上連続して100株以上の株式保有が記録されている場合をいいます。

※継続保有期間が3年以上とは、基準日である3月31日および9月30日の株主名簿に、同一の株主番号で7回以上連続して100株以上の株式保有が記録されている場合をいいます。



ご清聴ありがとうございました。

免責事項

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは、仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。当資料に掲載されている情報は、あくまで当社をより理解していただくためのものであって、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。

そして、スパイス&ハーブ

S&B